

## 「ウシ繁殖超音波画像診断セミナー九州沖縄ブロック研修会」

### を開催しました

令和2年12月10日

(独)家畜改良センター

宮崎牧場及び熊本牧場

令和2年12月8～9日に(独)家畜改良センター宮崎牧場において、標記研修会を熊本牧場との共催で行いました。今回は新型コロナウイルス感染対策を行ったうえでの開催となりました。

研修会には九州各県より獣医師及び人工授精師10名のご参加を頂きました。講師には宮崎大学農学部獣医学科産業動物臨床繁殖学研究室の大澤健司教授をお招きし、1日目に講義、2日目に実技講習を行いました。

1日目の講義では超音波検査の基本手技と早期妊娠診断及び胎子性判別について写真や動画を用いて分かりやすく説明していただき、2日目の実技では胎齢30日から84日までの妊娠牛12頭と発情発現牛1頭を対象とし、後援となる(株)メディカル・タスクフォース、本田電子(株)及び(株)富士平工業の携帯型超音波画像診断装置を用いて早期妊娠診断及び胎子性判別を行いました。講義及び実習後には受講者から様々な質問があり、大澤教授より貴重なアドバイスをいただきました。

研修終了後に回収した受講者アンケートでは、「座学も実習も非常に丁寧で満足できた」、「実習牛をたくさん準備していただき、日ごろ習得できない知識や技術を得ることができた」、「現場で積極的に使いたい」等の声が多数寄せられ、高い評価をいただきました。

今回、研修を受講された皆様が今後も超音波画像診断装置による性判別技術等を活用され、各地域における牛の生産性の向上に貢献されることを期待しております。



1日目：講義の風景



2日目：実技の風景